

Contact / お問い合わせ

北海道大学病院 看護部

〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目

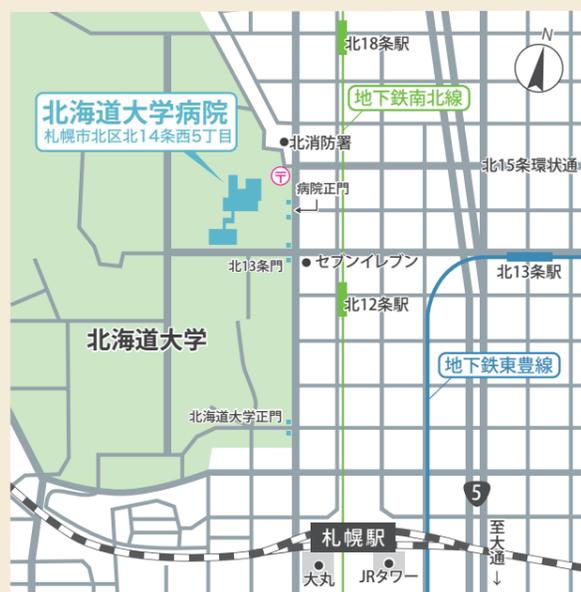
TEL.011-706-5746 FAX.011-706-7618

<http://www.huhp.hokudai.ac.jp/kango/>

Access / アクセス

JR JR札幌駅下車、北口より徒歩15分

地下鉄 地下鉄南北線にて北12条駅下車、徒歩6分
地下鉄東豊線にて北13条東駅下車、徒歩15分



インターンシップ・面接日程については
ホームページでご確認ください

<https://www.huhp.hokudai.ac.jp>



© Hirose and Hokkaido University Hospital Division of Nursing 2025



HOKKAIDO UNIVERSITY
HOSPITAL

NURSE RECRUIT GUIDE

看護職員募集案内

『患者参加型看護』
共に考え、歩んでいく



北海道大学病院
HOKKAIDO UNIVERSITY HOSPITAL

北海道大学病院 について

北海道大学病院の「特色」

理念

北海道大学病院は、良質な医療を提供すると共に、優れた医療人を育成し、先進的な医療の開発と提供を通じて社会に貢献します。

基本方針

- 患者本位で安心・安全な医療の提供
- 人間性豊かで自律した医療人の育成
- 先進的かつ高度な医療の開発と提供
- 未来を見据えた地域医療・地域社会への貢献

病院情報

- 特定機能病院 / 1994年10月
- 病床数 / 894床
- 看護配置基準 / 入院基本料 7:1看護
- 臓器移植施設認定 (腎臓、膵臓、小腸、肝臓、心臓、肺)
- 北海道エイズ治療ブロック拠点病院
- 災害拠点病院 (地域災害医療センター)
- 肝疾患診療連携拠点病院
- がん診療連携拠点病院
- 小児がん拠点病院
- 造血幹細胞移植推進拠点病院
- 臨床研究中核病院
- がんゲノム医療中核拠点病院指定
- 病院機能評価 3rdG: Ver2.0認定

高度急性期

高度で先進的な治療や手術や三次救急や重症患者への診療を行っています

- 集中治療室 (ICU)
- 高度治療室 (HCU)
- 新生児重症治療管理室 (NICU)
- 母性胎児集中治療室 (MFICU)
- 救命救急センター
- 手術部



ICU (集中治療室)



救命救急センター

24時間365日、札幌市内に4カ所ある三次救急医療病院として、特に重篤な救急患者さんを年間2000件以上対応

がん看護

高度ながん診療、がん看護を外来・入院で行っています
外来治療センターでは年間10000件以上の治療を行っています



外来治療センター



高度無菌治療室

チーム医療

多職種で連携をしながらチームで専門的治療とケアを行っています



褥瘡対策チーム



緩和ケアチーム

看護部

看護部長の「ご挨拶」



患者さん一人ひとりの生活や価値観を大切に、よりよい看護を提供する

副病院長 | 看護部長 | 認定看護管理者
城石 陽子

北海道大学病院は地域において、良質な医療を提供することを使命として取り組んでいます。その中で看護部は、「患者・家族の意思を尊重した看護を行います」という理念を掲げ、「患者参加型看護」を実践しています。患者さんそれぞれに価値観があり、生活があります。治療・療養とどのように向き合っていくのか、患者さん・家族が大切にしていることは何か、どのような生活を送りたいと考えているのか、一人一人の患者さんに合わせたよりよい支援ができるように心がけています。少子高齢化が進む中、看護職に求められる役割は大きくなっています。変化の時代において、北海道大学病院は自ら考え、判断し、行動できる自律した看護職の育成に努めています。皆さん、一緒によりよい看護の提供を目指していきましょう。

理念

- 1 患者・家族の意思を尊重した看護を行います
- 2 社会の要請に対応した看護を行います
- 3 看護の専門性を発揮し、チーム医療を推進します

方針

1 患者参加型看護の実践

患者の意思を尊重し、医療をうける自らの目的を選択・達成できるように、看護の全てのプロセスを開示・説明し、合意形成を図りながら患者中心の看護をおこなう

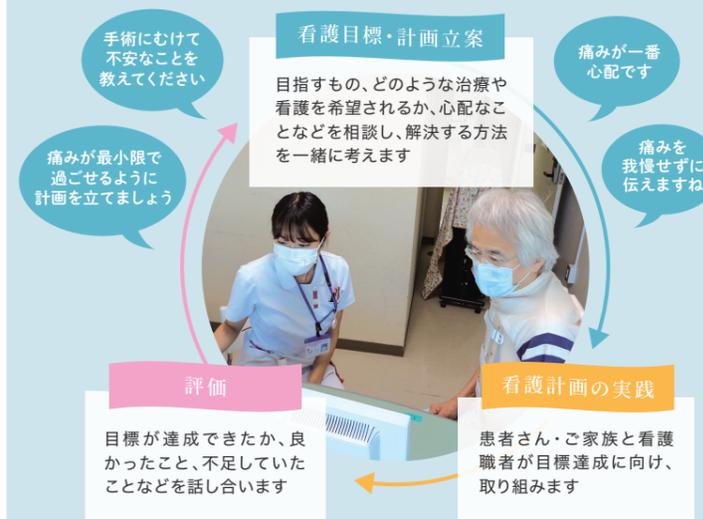
2 看護職の成長への相互支援体制

医療の進歩、社会の要請に対応できる専門職業人として能力を維持・開発できるよう、職場環境を整える

3 自由な中での新しい看護の創造

より質の高い看護が提供できるよう、最新の知見を活用して看護を実践するとともに、新たな専門的知識・技術の開発に努める

患者参加型看護



北海道大学病院では、患者さんと看護職者が情報を共有し、目標や計画を立てて、看護の実践や評価と一緒に進めていく患者参加型看護を実践しています。

看護師は、患者さん・ご家族が、ご自身の身体のこと、検査や治療について理解できるように支援します。そして、患者さんの気持ちや希望に沿った看護ができるよう相談し、一緒に取り組みます。

Support / 新人看護師の支援

全部署プリセプターシップ制

- 年齢の近い看護師経験3～4年目の先輩看護師が新卒看護師1名につき1名担当します
- 新卒看護職員の職場適応、メンタルヘルス、看護師としての成長への支援を行います

部署のスタッフ全員で新卒看護職員を支援します

部署では、プリセプターだけでなく、教育担当副看護師長、指導看護師を中心にした、部署のスタッフ全員で新卒看護職員を支援します

VOICE 01

3世代プリセプター & プリセプティ



Yさんのプリセプター

Sさん (左)

北海道医薬専門学校卒業 / 2020年入職

Q プリセプターとして大切にしていたことは？

いつでも味方でいられる、相談できる存在になるようにしていました。気軽にプリセプターに声をかけるようにし、コミュニケーションをとる機会を多く作ることを意識していました。

Q プリセプターをしていて印象に残っていることは？

最初は私がすべて説明しながら誘導して行っていたのですが、プリセプティが熱心に学び、自身で立てた看護計画を患者さんと共有している姿を見たとき、成長を実感し嬉しく思いました。

Q 新人支援で大切にしていることは？

新人支援はプリセプターだけでなく、チーム全員で取り組むことです。

プリセプティ

Oさん (中央)

北海道大学卒業 / 2024年入職

Q プリセプターからどのような支援をしてもらっていましたか？

勤務が一緒になったときには「最近どう？」と気にかけてくれて、精神的な支えになってくれました。また、自立できていないケアを経験できるように機会を調整してくれました。2年目になり、直接支援を受ける機会は減りましたが、その中でも成長できるようにいつも声をかけ、支援してくれています。

Q プリセプターからの支援で印象に残っていることは？

最初は受け持つ患者さんも少ないため「自分でやらなければ」と思っていました。しかし、患者さんのためにも、自分ひとりではできないことは周りに頼ることが大切だと教えてくれました。そのおかげでより良い看護ができるようになったと感じています。

Oさんのプリセプター

Yさん (右)

北海道大学卒業 / 2022年入職

Q プリセプターからどのような支援をしてもらっていましたか？

患者さんからの言葉で辛くなってしまったときに、私の顔を見て「大丈夫？何かあった？」とすぐに気づいて声をかけてくれました。その言葉に支えられ、大きな励みももらいました。

Q プリセプターとして大切にしていたことは？

精神的な支援を最優先に考えています。プリセプティが自信をもって成長できるように「順調に進んでいるよ」と良い点を伝えることを意識しつつ、さらに成長できるように、改善した方がよいことはしっかり伝えるようにしました。

Q 新人支援で大切にしていることは？

プリセプターだからと一人で新人を育てるのではなく、病棟全員で新人を支援することが重要だと思います。

VOICE 02

プリセプター & プリセプティ

プリセプティ

Sさん (左)

北海道大学卒業 / 2024年入職

Q プリセプターからどのような支援をしてもらっていましたか？

日々の業務中はもちろん、勤務終了前に1日の振り返りをしてもらいました。自分の頑張りを褒めてくれつつ、改善点をわかりやすく、かつ根拠に基づいた指導で、迷いなく知識、スキルを習得できました。また、定期的に個別の面談の場を設けてくれたため、ちょっとした悩みを相談することができてうれしかったです。

Q プリセプターシップの良い点は？

なるべくプリセプターから指導を受けるように調整してくれたので、何ができて何ができないのか、把握しやすかったと思います。また、「味方がいる！」という安心感が得られる点が特にプリセプターシップの良いところだと思います。

プリセプター

Cさん (右)

日本赤十字北海道看護大学卒業 / 2022年入職

Q プリセプターとして大切にしていたことは？

プリセプティに悩みや困りごとがないか聞くようにしていました。業務だけでなく、体調などについても相談できるように雰囲気づくりを心がけました。話してくれるときは最後まで聞き、普段からできる限り声をかけるようにしていました。Sさんが痛みのある患者さんに寄り添った声かけを丁寧に行っている姿が嬉しくて、印象に残っています。

Q 部署、チームではどのような新人支援をおこなっていますか？

二人の間だけでなく、部署全体で新人の状況を共有し、支援を行なっています。支援の内容は新人、支援者がお互いに理解できるよう、相互にフィードバックしています。

VOICE 03

既卒看護職員

Kさん (左)

旭川医科大学・札幌医科大学
助産学専攻科卒業

Q 看護師から助産師を目指した理由は？

私は看護師として他院で5年間勤務した後、1年大学の専攻科へ通い、助産師資格を取得して、現在は当院で助産師として働いています。

助産師を目指したきっかけは、若くして出産した知人の言葉です。私は意思決定支援や家族看護に関心があったため、なぜ彼女がそう感じたのか、看護職として自分にできることなかったのかと悔しさを感じました。似た背景を持つ妊産婦への看護を通じて、彼女が何に困り、何を望んでいたのかに気付くことができました。対象となる方の不安や希望に寄り添い、チームで共有しながら、周産期の目標に向けて支援していく方法を今も学んでいます。

当院は多職種連携が充実しており、患者さんやご家族と対話を重ね、患者さんに合わせた包括的なケアが行えるのが魅力であり、やりがいに繋がっています。

Rさん (中央)

中村記念病院附属看護学校卒業

Q 看護師を目指すきっかけは？

私は以前、他の職種で働いていました。そんな中、父が入院することになり、母が父を支える姿を見て「もっと私に医療の知識があれば父や母を支えられたのではないかと感じ看護師を志しました。患者だけでなく家族もまた不安な気持ちがあると実感し、家族にも寄り添える看護師になりたいと思いました。前職でお客様ひとりひとりと向き合い、丁寧に

ニーズをくみ取るという事を経験していたため、社会人経験が活きる場面も多いと感じています。

Q 北海道大学病院で働くやりがいは？

当院は教育体制が整っているため、研修を受けてすぐに看護実践に活かすことができると思い入職しました。三次救急病院で重篤な患者さんが入院しますので、学びも多く、自分の成長に繋がる環境だと思います。自分の声掛けやケアで、患者さんやご家族の安心につながったとき、また「ありがとう」「助かった」と言ってもらえた時は、この仕事を選んで良かったなと感じます。

Sさん (右)

旭川医科大学卒業

Q 北海道大学病院に入職した理由は？

私は今後、資格取得や特定行為研修の受講を考えています。そのため、高度な医療の継続、修士やコーディネーター等、キャリアの選択肢があることや、2交替など働き方が多様にあること。さらに、家族がいるため、福利厚生が充実していることが入職した理由です。

Q 北海道大学病院で働くやりがいは？

当院では、「患者参加型看護」、患者のなりたい姿になるために一緒に考えることを学べます。また、他院に比べると圧倒的にマニュアルが揃っています。教育面が充実しているので、転職者も十分に経験を活かしつつ、学びを得ることができると思います。さらに、高度医療ならではの治験、道内で当院しかやっていない治療をみることができると大きな魅力の一つです。

新人教育

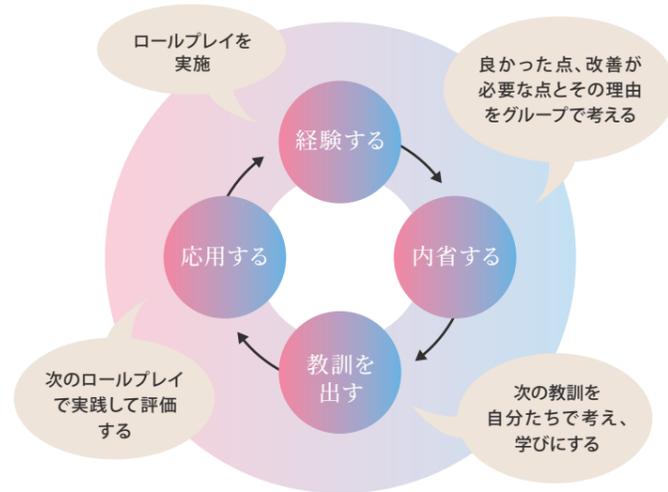
北海道大学病院

新人看護職員到達目標

に基づいた育成計画・研修

■各研修では臨床場面を想定した
ロールプレイを実施しています

■グループの「経験学習サイクル」を用いて
経験を振り返り、考え、学ぶ力を身につけます



《グループの経験学習サイクル》



◎ロールプレイでは患者役を経験することで、患者目線で考える力を身につけています

部署内教育

- プリセプターシップ
- 新人看護職員到達目標に基づいた育成計画
- 個別目標管理
- 学習会

キャリア支援室 による支援

- 新人看護職員技術研修の企画運営
- 部署と連携した職場適応支援(定期面談・個別サポート)
- 目標達成状況を部署と共有
- 個別サポート、2年目以降の継続支援

教育支援ツール

- 『ナーシング・スキル日本版』
オンラインの看護技術教育ツールを導入しています。



Training Calendar / 研修カレンダー



新人看護職員 補完研修

部署の特性に合わせて項目、時期を調整して実施する研修です(1カ月に1項目)。

- 12誘導心電図・心電図モニター・パルスオキシメーター
- 経管栄養法
- 吸引
- 輸血
- ドレーン類の管理
- 膀胱内留置カテーテルの挿入と管理

研 | 修 | 紹 | 介

■ 採血と検体の取り扱い



検体の取り扱いと動脈血採血の介助、研修生同士で採血演習を行います

■ 輸液ポンプ・シリンジポンプ



実際に使用する、輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いと安全な投与について演習を行います

■ 救命救急措置

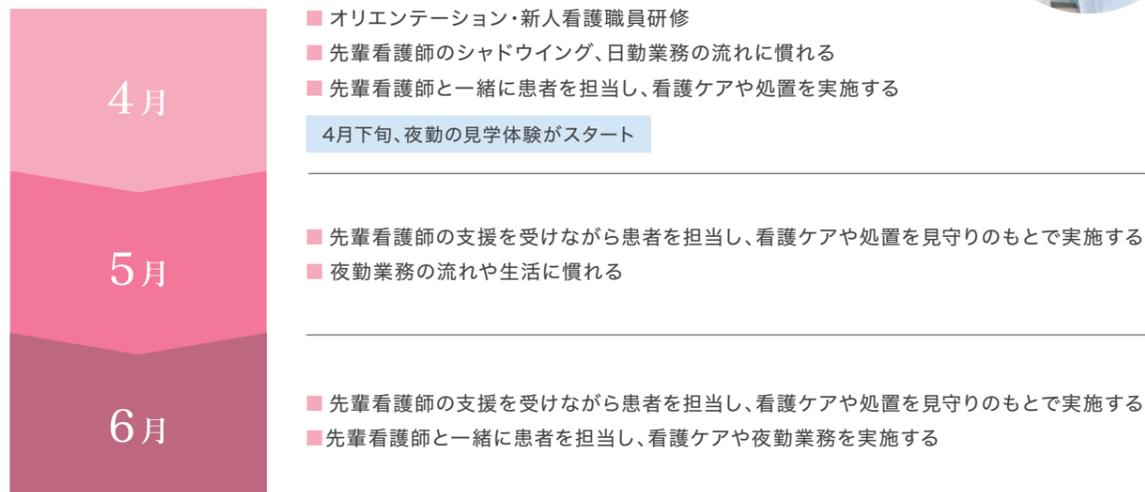


心肺蘇生法(一次救命処置)、気管挿管の介助の演習を行います

Work schedule / 業務の流れ



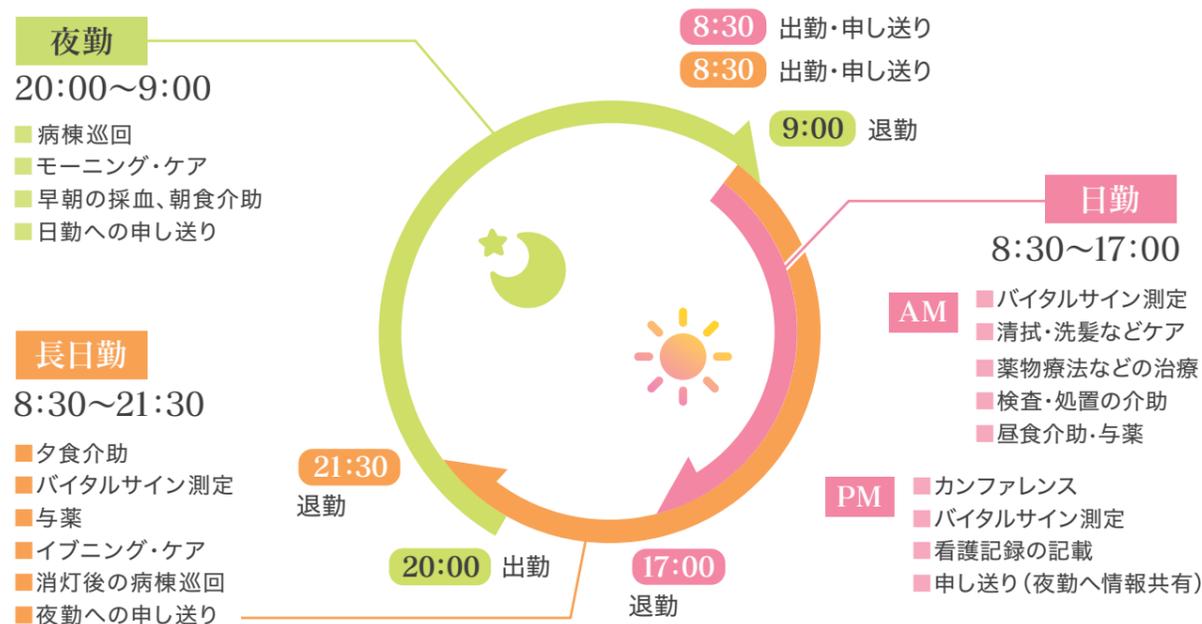
新人看護師4～6月のモデルケース



勤務形態について

2交代制勤務の例 (12時間夜勤)

勤務形態は、各部署の看護、診療科の特性に合わせて、部署毎に決められています。



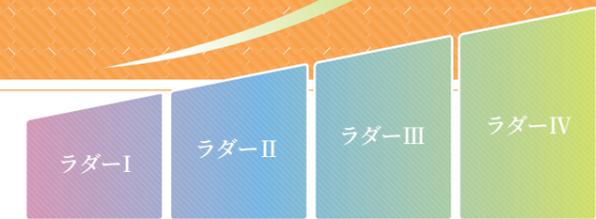
Career Up / キャリア開発支援

Step Up

自身でキャリアデザインしながら

仕事を通して成長できるよう

多様な支援を整えています



教育目的

専門職の自覚を持ち、患者の個性を尊重した計画的な看護が主体的に実践できるよう教育支援します

教育目標



北大版看護実践能力開発ラダー

経験年数(年)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10									
	I		II		III		IV			
新人	I		II		III		IV			
能力開発ラダー到達目標	助言や指導を受けながら基本的な臨床実践ができる		倫理性をもち、自立して対象者の健康と生活を支える臨床実践ができる		高い倫理性を身につけ、対象者の健康と生活を支える実践モデルとなることができる		チーム医療のキーパーソンとしてあらゆる状況において最適なケアマネジメントができる			
ラダー別研修	■看護倫理研修 ■リーダー研修				■看護管理研修					

役割別研修

- 看護師長
- 副看護師長
- プリセプター
- 看護補助者



研修の様子

特定行為研修



〈創傷管理関連の特定行為〉

看護師の特定行為研修に係る 研修機関の指定について

特定行為研修は、看護師が手順書により特定行為を行う場合に特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能の向上を図るための研修です。2020年に厚生労働大臣が指定する研修機関として認定されました。当院では25行為の研修が受講できます。2025年までに19名の研修修了者を養成しています。

特定行為研修修了者

質の高い看護ができることに
やりがいを感じます。

中央診療検査 | ナースセンター Wさん

私は、入職してから多くの専門分野を学ぶ機会や経験をj得て、特定行為研修修了者として働いています。現在は血管造影室で特定行為を実践し、質の高い看護ができることにやりがいを感じています。当院はキャリアアップに挑戦する機会が沢山あり、様々な分野で資格を取得した看護師が多く働いています。みなさんも一緒に働いて看護の専門性を高めキャリアアップを目指していきませんか。



〈末梢挿入中心静脈カテーテルの挿入〉

院内認定看護師育成プログラム

キャリアを積み重ねた看護職員に対し、さまざまな院内認定看護師を育成しています。



静脈注射エキスパートナース



がん看護エキスパートナース



指導看護師



在宅療養支援エキスパートナース

スペシャリスト

専門看護師・認定看護師が院内で看護実践しています。

■分野別人数表 18領域42名(2025年度)

専門看護師(11名)

- がん看護
- 慢性疾患看護
- 小児看護
- 急性・重症患者看護

認定看護師(32名)

- がん化学療法看護
- がん薬物療法看護
- 緩和ケア
- がん放射線療法看護
- 皮膚・排泄ケア
- 救急看護
- クリティカルケア
- 小児救急看護
- 新生児集中ケア
- 感染管理
- 手術看護
- 糖尿病看護
- 認知症看護
- 摂食嚥下障害看護



専門領域別研修

専門看護師、認定看護師等が企画・運営する、最新の知識・技術を学ぶ研修

研究活動

■看護実践報告会 主催:看護部研修委員会
各部署1年に1演題院内で報告しています。

《発表形式》口演または示説



取り組み内容はポスターにまとめて、院内に掲示しています



■Nursing Research Café

北海道大学保健科学研究院教員による臨床の看護研究支援(毎月1回)

■自主臨床研究審查看護部委員会

看護研究の質の維持・向上目的に、倫理審査と研究支援を行っています。

■看護研究・看護実践

看護部の理念に基づき、新たな知見を活用した看護の実践、新たな専門的知識・技術の開発に努めています。

《発表演題数》

年度	2022	2023	2024
演題数	19	11	19



Message 01

Mさん

北海道科学大学卒業
2021年入職

私は、医科、歯科手術室を経験し、現在は眼科と糖尿病内分泌内科の混合病棟で勤務しています。実際に勤務して感じたのは、他ではできない治療を行える病院であり、患者が「最後の希望」として訪れ、笑顔で退院していく姿から、自身もやりがいと希望を得ているということです。私は、視力低下や視覚障害のある患者に対して患者さんの眼の代わりとなるサポートをし、退院後の生活を目指して、日常生活の支援を行っています。糖尿病患者には自己管理に必要な知識と生活習慣の指導を行い、退院後の継続的なセルフケアをサポートしています。

当院に入職した理由は、最先端の医療を提供していることです。遠隔操作で道外の医師が手術を行う等、患者さんへ最善の医療を提供する為に様々な工夫や努力をされている部分に憧れ、自身もその一部になりたいと思い希望しました。入職後に強く感じていることは、当院は他では行えない処置や治療を行うことができるため、患者さんは希望を持って入院してきます。治療を終え安心して退院していく姿に、自分もやる気や希望をもらい働き続けられていると感じます。

当院の看護師は患者さんに対して最高の看護を提供できるように働いています。そのためには学ぶことも多く、疾患を含めて患者さんのことを知ろうとすると、とてもやりがいがあります。ぜひ北海道大学病院を検討してみてください。



Message 02

Kさん

北海道大学大学院保健科学院卒業
2010年入職

私は新卒で北海道大学病院に入職し、内科および外科病棟にてがん看護を行ってきました。その後、2年間休職し、大学院修士課程にてがん看護を学び、2024年にはがん看護専門看護師の資格を取得しました。現在は、外来に通院されているがん患者さんに対して、がん薬物療法を中心とした看護実践を行っています。がん患者さんが病を抱えながらも、その人らしい生活を送ることができるよう、医師や多職種スタッフと連携し、患者さんとそのご家族の思いに寄り添った、包括的かつ継続的なケアの提供に努めています。

北海道大学病院は実習の際に、先輩が自立してテキパキと働いている姿をみて、自分もこの病院で働いたら、そのように成長できるのかなと憧れを持ちました。また、経年別の研修やキャリアアップのための教育体制がしっかりしていることが入職時に病院を選んだ理由です。実際に入職して、沢山の先輩、後輩、なんでも話せる同期に支えられ、仕事が忙しくても一緒に働く仲間が存在があり、働き続けることができます。また、自分を成長させてくれた先輩看護師、認定看護師、専門看護師の存在や、患者さんの感謝の言葉、そして病氣・治療に前向きに向き合う姿は、私がいちばん頑張るためのモチベーションになっています。

看護師は患者さんの命、生活に関わるケアを行うため責任が大きく大変な仕事だと思います。しかし、沢山のスタッフで協力しながらより良い看護・医療を考え提供することは、とてもやりがいがあります。そして、自分も看護師・人間として成長できると思います。皆さんと一緒に北海道大学病院で働けるのを楽しみにしています。

Message 03

Nさん

国立函館病院附属看護学校卒業
2007年入職

私は入職した後、働きながら通信制の大学に編入し、大学を卒業しました。治療に向き合う患者さんを看ている内に、「人生は一度きり」と感じ、当院を1年間退職、かねてより夢だった留学を実現しました。留学後も北大で看護をしたい想いは変わらず、帰国後再入職をしました。

現在は、小児科病棟で勤務しており、小児の成長発達に合わせた声かけや、不安がなく処置を受けられるよう、遊びを取り入れながらの処置は試行錯誤の毎日です。また、小児を見守る保護者へのケアも重要であり、双方に寄り添いながら看護をしています。

3度の産休育休を経て、現在に至りますが、病棟の看護が好きで、子育てをしながら時短勤務で病棟勤務を続けています。時短勤務内で出来ることは限られますが、キャリアを継続することで、今後フルタイム勤務に戻る不安が少なく過ごせています。何度か部署異動も経験しましたが、当院共通の業務基準やマニュアルがあることで、異動後もキャリアを活かしながら働くことができ、幅広い疾患や治療に携われることが魅力です。

私は、北海道大学病院の「患者さんと寄り添う看護」という言葉に惹かれて就職しました。患者さんの気持ちに寄り添い、一緒に看護を創り上げていく過程、そして患者さんらしく過ごせている姿を見ることはやりがいそのものです。

当院では、集合研修の充実など、新卒・既卒に関わらずそれぞれに合わせたステップアップが出来る環境が整っています。さらに、大学病院特有の最新医療を学べ、患者さんと看護を一緒に考えることが出来ます。リフレッシュ休暇などの休暇制度もあり、仕事のオンオフを切り替えることが出来、仕事のモチベーションを維持出来る環境です。



Message 04

Sさん

河原医療大学卒業
2018年入職

私は医療とは別の領域で数年の社会人経験を経てから看護師を志しました。看護学生の頃から患者さんと家族に寄り添える看護師になりたいと考えていたことから、「患者参加型看護」の実践に魅力を感じ入職をしました。また、精神科領域を深く学びたいと考えていた私にとって、精神科神経科病棟の他に、北海道初の医療観察法指定入院医療機関としての病棟が開設されたことも、北海道大学病院で働きたいと強く感じる理由となっています。

私の所属する部署では精神症状により重大な他害行為を行った患者さんの病状を改善し、社会復帰を目指すための治療を進めています。多職種連携を大切にしており、患者さん、医師、看護師、作業療法士、臨床心理士、精神保健福祉士、薬剤師で1つのチームを作り協働して患者さんを支援しています。一般病棟に比べ、全職種が集まる機会が非常に多いため、それぞれの職種の視点で患者さんを理解することで、より個別性の高い自律支援や看護展開に繋がり、日々やりがいを感じながら働くことが出来ています。

私は社会人経験を経てから入職したため、他の人と同じように働いていけるのか、とても不安に感じていました。これから入職を考えている方も私と同じように不安を抱えている方がいるかもしれませんが、北海道大学病院ではラダーに沿った教育プログラムや研修など新人看護職員への支援が充実していることから安心して学ぶことができます。また、同じ年に入職する職員が多く、同期と共に学び、助け合いながら働けたことも心強かったです。更に、男性看護師が多く在籍していることから、性別関係なく、誰もが動きやすい環境が整っています。是非一緒に働きましょう。



Childcare Support / 子育て支援

産前産後休暇、育児休業の後に復帰する際には
時間短縮した働き方が選択できます。
夫婦で働く看護師も多く在職しています。



育パパ・育ママ看護師

育児をしながら自身のキャリアアップを考えていける職場です

H夫妻



育ママ 北海道大学医療技術短期大学部卒業
2004年入職

育児休業からの復帰の際には、子どもの入学・入園が重なり不安を感じていました。しかし、当院では多様な勤務形態から働き方を選択できるため、現在は育児部分休業を活用し、仕事と育児の両立ができています。
今年度から小児科病棟に勤務しており、自身の育児経験や緩和ケア認定看護師の資格を看護の実践に活かせるように努めていきたいと考えています。



育パパ 北海道医療大卒業
2007年入職

妻と同じ病院で勤務しています。子どもが体調を崩した時や大切な行事の際には、部署の協力を得て、柔軟に勤務を調整してもらっています。
妻と私は分野が違う認定看護師であり、仕事と家庭の両立は決して容易ではありません。しかし、理解ある職場環境のおかげで、無理なく仕事と家庭の両立ができ、専門性を高め、父としても成長できています。

北海道大学病院 保育園ポプラ

札幌市北区北18条西7丁目(北海道大学構内)

保育対象年齢 0歳から就学前のお子さん

利用対象者 原則として、北海道大学病院に勤務する職員の乳幼児

保育時間 7:30~18:30 [延長保育]18:30~21:30まで



病後児保育室 ぶらん

札幌市北区北14条西5丁目北海道大学病院 D棟1階
◎病気の回復期に入ったお子様をみてもらえる病後児保育室です。

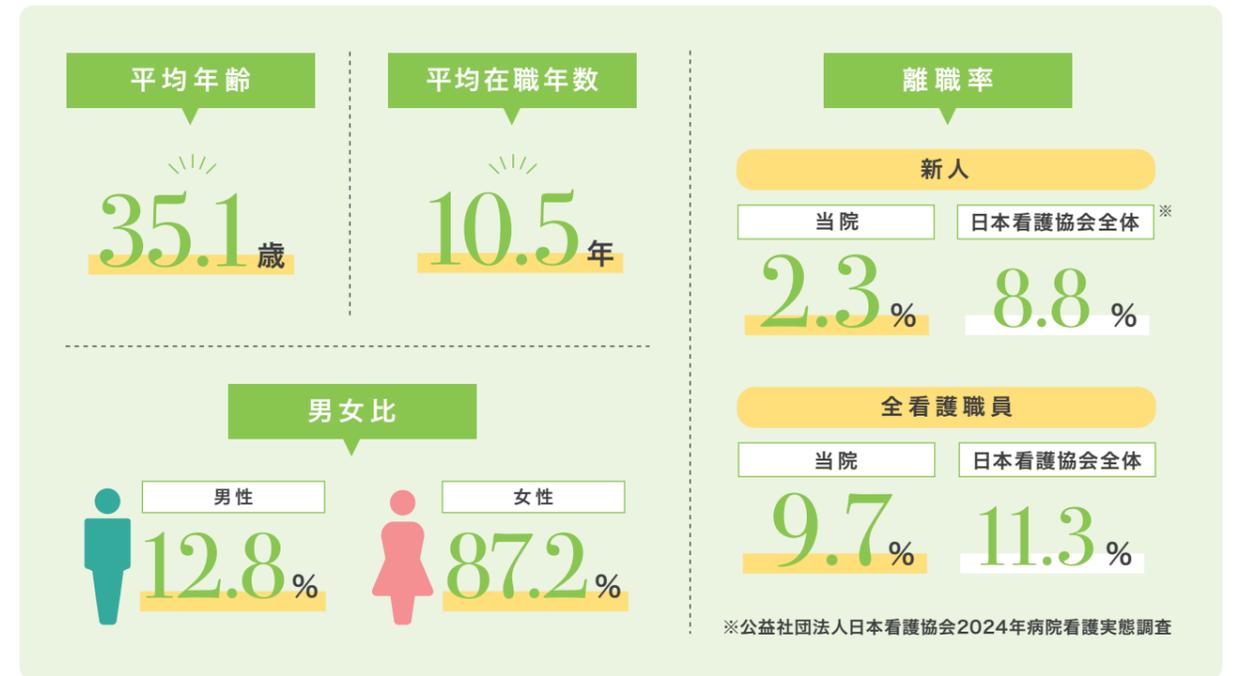
その他 北海道大学敷地内保育施設

- 国立大学法人 子どもの園保育園
- 事業所内保育所 ともに

看護師 宿舎

- 宿舍賃料 ①7,107円(23.88㎡) ②8,343円(27.84㎡)
- 管理費(2025年時点) 15,073円(電気代・インターネット接続費は別途支払い)鉄筋6階建、総数110室、ワンルームマンション形式(トイレ、ユニットバス、キッチン、ベッド、タンス付)オール電化・冷暖房完備
- 1995年建築

数字でみる北海道大学病院の看護職



新卒出身校(過去5年間)

